

ウクライナ全権委任大使面談のご報告

2022年4月9日にホテル北野プラザ六甲荘で開催されました認定NPO 法人インド太平洋問題研究所のイベントに出席の後、駐日ウクライナ全権委任大使のゼルギー・コルスンスキー様にご面談いただくことができました。ウクライナへのロシア進行について、生の声で正確な情報を聞くことで「私たちにできること」を改めて考えられる大変有意義な時間となりました。

ニュースでも報道されているとおり今求められるのは、国を防衛する為の武器が大幅に不足していること、各方面におけるマンパワーを補うボランティアが最優先に求められるております。

また、多くの地域でインフラや建物へ甚大な被害を受けております。現状での復興費用はインフラだけでも14兆円以上といわれ、国家予算の数十倍になると予測されていることからウクライナだけで成し遂げるのは到底困難状況です。進行が終結してもそれで終わるのではなく、国民が元の生活に戻るためには長期に渡り世界各国からの人道的、金銭的支援が求められることとなります。

建物診断研究所といたしましては、大変微力ではございますが義援金をお渡しさせていただくことができました。しかし、未だに終結が見えない状況下では、世界中からの支援の継続が不可欠であり、私たちも長期の具体的支援を考えていかななくてはならないと強く感じました。

2022年4月9日ホテル北野プラザ六甲荘にて



左から 衆議院議員

一社) 建物診断研究所 副理事

駐日ウクライナ全権委任大使

一社) 建物診断研究所 理事長

関 芳弘 様

島村 智之

ゼルギー・コルスンスキー 様

増井 浩